※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | T2101 |
|---|---|

# 令和５年度　外国語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 外国語 | （土）韓国朝鮮語２ | ２ | １～４年次 | 高校生のための韓国朝鮮語<br>新　好きやねんハングルⅡ |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生徒の積極的な授業への取り組みを重視します。
様々な教材を通じて、「読む」「聞く」「書く」の３要素を総合的に学習します。

## ２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

| 領域 | 聞くこと | 読むこと | 話すこと<br>（やり取り） | 話すこと<br>（発表） | 書くこと |
|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | 幅広い話題について、韓国朝鮮語表記から理解することができる。自身の身の回りのことに関する会話や説明を理解することができる。 | 韓国朝鮮語表記の新聞記事に書かれた文章を理解することができる。 | 韓国朝鮮語での日常的なやり取りを行うことができる。 | 自分の意見や考えについて、韓国朝鮮語を用いて話すことができる。 | 自分の意見や考えを、韓国朝鮮語の文法、語彙、慣用句などを用いて作文することができる。 |

## ３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

| 観点 | a 知識・技能 | b 思考・判断・表現 | c 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解できている。 | 情報や考えなどを韓国・朝鮮語で話したり書いたりして伝えることができる。 | 積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## ４　学習の活動

| 月 | 課<br>“題材名” | 領域 | 評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|
| 4月<br>5月<br>6月<br>7月 | 【基本文法と表現 ①】<br>1.尊敬形<br>2.해요体の尊敬<br>3.過去形<br>4.進行形、連体形(1)<br>5.未来・意思形、連体形(2) | 聞くこと | a: より高度な基本文法を正確に聞き取ることができる。<br>b: 尊敬や過去、未来などの違いを正確に聞き取ることができる。<br>c: イントネーションの違いによるニュアンスの変化を正確に聞き取ろうとしている。 | 定期考査<br>（リスニング） |
| | | 読むこと | a: より高度な基本文法を正確に読むことができる。<br>b: 表記法の特徴を正確に読み取ることができる。<br>c: 高度な文法表現を正確に読み取り、内容を理解しようとしている。 | 定期考査<br>（リーディング） |
| | | 話すこと<br>（やり取り） | a: より高度な基本文法を用いて、やり取りを行うことができる。<br>b: イントネーションの違いによるニュアンスの変化を意識して話そうとしている。<br>c:習得した文法表現を積極的に用いて、会話を行おうとしている。 | 観察<br>発表 |
| | | 書くこと | a: より高度な基本文法を用いて、文章を書くことができる。<br>b: より高度な基本文法を用いて、文章を書くことができる。<br>c: より高度な基本文法を積極的に用いて、文章を書こうとしている。 | 定期考査<br>（ライティング） |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 7月 | 中間考査 | | | |
| 10月<br>11月<br>12月 | 【基本文法と表現 ②】<br>6.ㄹ語幹の用言<br>7.ㅅ変則<br>8.ㅂ変則<br>9.ㄷ変則<br>10.ㅎ、ㄹ変則<br>11.으変則 | 聞くこと | a: より高度な基本文法を正確に聞き取ることができる。<br>b: 語幹の用言や変則の違いを正確に聞き取ることができる。<br>c: 変則の違いを正確に聞き取ろうとしている。 | 定期考査<br>（リスニング） |
| | | 読むこと | a: より高度な基本文法を正確に読むことができる。<br>b: 変則の特徴を正確に読み取ることができる。<br>c: 高度な文法表現を正確に読み取り、内容を理解しようとしている。 | 定期考査<br>（リーディング） |
| | | 話すこと<br>（発表） | a: より高度な基本文法を用いて、やり取りを行うことができる。<br>b: 語幹の用言や変則の違いを意識して話そうとしている。<br>c:習得した文法表現を積極的に用いて、会話を行おうとしている。 | 観察<br>発表 |
| | | 書くこと | a: より高度な基本文法を用いて、文章を書くことができる。<br>b: より高度な基本文法を用いて、文章を書くことができる。<br>c: より高度な基本文法を積極的に用いて、文章を書こうとしている。 | 定期考査<br>（ライティング） |
| 12月<br>1月 | 【長文読解と作文、会話】 | 聞くこと | a: 長文の内容を正確に聞き取ることができる。<br>b: 長文の内容を理解し、自分の意見と照らし合わせて感想や意見が書けるレベルまで内容を聞き取ることができる。<br>c: 長文の内容を正確に聞き取ろうとしている。 | 定期考査<br>（リスニング） |
| | | 読むこと | a: 長文を正確に読むことができる。<br>b: 長文の内容を理解し、自分の意見と照らし合わせて感想や意見が書けるレベルまで内容を読み込むことができる。<br>c: 長文を正確に読み取り、内容を理解しようとしている。 | 定期考査<br>（リーディング） |
| | | 話すこと<br>（発表） | a: ある程度長い会話文を話したり聞き取ったりして、会話のやり取りを行うことができる。<br>b: 長文から相手の意見を汲み取り、自分の意見と照らし合わせてコミュニケーションを取ることができる。<br>c: 習得した文法表現を積極的に用いて、長い文章の会話を行おうとしている。 | 観察<br>発表 |
| | | 書くこと | a: 習得した文法を用いて、作文ができる。<br>b: 長文を読解し、その内容を踏まえた文章を作ることができる。<br>c: 粘り強く取り組み、長い文章を書こうとしている。 | 定期考査<br>（ライティング） |
| 1月 | 期末考査 | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度